

がん治療の“今”がわかる専門情報誌

愛知県がんセンター

がんセンター

NEWS Aichi Cancer Center
NEWS

2024年
7月
vol.89

発行 愛知県がんセンター Tel. 052-762-6111(代)

今号のニュース **新愛知県がんセンター基本構想の策定(2ページ)**

乳腺科部長就任のごあいさつ(2ページ)

放射線IVR部長就任のごあいさつ(3ページ)

「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展の開催(3ページ)

バンコク医療関係者視察団が訪問(3ページ)

病院トピックス

看護部 がん看護専門看護師 吉川 恵

がん看護外来をご利用ください(4ページ)

研究所トピックス

腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野長 松下 博和

抗原特異的免疫療法の開発(5ページ)



【栄養管理部おすすめメニュー】
トマトジュースのガスパチヨ(4ページ)

【イベント・講座インフォメーション】
愛知県がんセンター公開講座年間スケジュール(7ページ)
中部地区がん医療連携学術講演会のお知らせ(7ページ)

【シリーズ:とよろく医探訪】 No.32
循環器内科と心臓リハビリの
高針クリニック
院長:竹中 真規 先生(6ページ)

愛知県

2024年5月1日より乳腺科部長を拝命いたしました原文堅と申します。乳がんの薬物療法を専門としています。乳がんはいまや女性の約9人に1人が罹患する時代となっています。しかし手術、放射線治療、薬物療法などの集学的治療により長期生存が望める比較的予後のよいがんでもあります。連携医療機関の先生方、院内各種チームと協力しながら、地域の多くの乳がん患者さんに最適な治療を届け、幸せな生活を過ごしていただけるよう取り組んでまいります。また愛知県がんセンターの使命として、よりよい治療の開発のため、臨床研究・治験にも積極的に取り組んでまいります。今後ともお力添えいただきますようよろしくお願い申し上げます。

<主な資格>

日本乳癌学会 乳腺専門医・指導医

日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医・指導医

日本がん治療認定医機構・がん治療認定医

日本外科学会認定登録医



新愛知県がんセンター基本構想の策定

運用部 経営戦略課 企画・経営グループ 主査 虫鹿 友規

新愛知県がんセンターが向かうべき方向性をまとめた「新愛知県がんセンター基本構想」が策定されました。

【基本方針】

- ・新愛知県がんセンターを病院と研究所が一体となって、次代のがん医療・予防の研究開発や、最先端のがん医療の提供を行う県内の中核拠点とする。
- ・日本のがんセンターの地域モデルとして広く地域に開かれた医療機関となり、関係機関との密接な連携を通じて県民に最良のがん医療を提供するとともに、愛知県内のがん医療の均てん化と高度化を推進する。

2024年度は、基本計画策定に向けた検討を進めます。

今後も日本のがん医療・がん研究をけん引し続けてまいりますので、新愛知県がんセンターの整備について、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

想定スケジュール

年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028
工程	有識者会議 基本構想 調査	基本計画	PFI調達準備	基本設計 実施設計		建替え工事 (2030年代 初頭まで)

詳細はこちら



※基本計画(PFI導入可能性詳細調査)の結果、PFI導入の効果が認められた場合の想定スケジュール

2024年5月1日より放射線IVR部長を拝命いたしました佐藤洋造と申します。名古屋市立大学を卒業後、愛知県がんセンター、がん研有明病院に勤務して、がん診療の研鑽を積んでまいりました。

IVR(Interventional Radiology)とは、針やカテーテルなどを用いて行う画像下での低侵襲治療です。肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法が代表的な手技ですが、他にも生検、中心静脈ポート、ドレナージ、止血目的の塞栓術など、様々なIVRを全診療科から依頼を受けて施行しております。適応拡大されたラジオ派焼灼療法や神経ブロックなどの緩和IVRにも積極的に取り組んでいきます。IVRの技術を駆使して、愛知県がんセンターの診療に貢献できるよう尽力いたします。肝がんに限らず何かお困りのことがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



<主な資格>

日本医学放射線学会診断専門医、日本IVR学会専門医・評議員、がん薬物療法専門医、がん治療認定医

「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展

ゲノム医療センター リスク評価室 高磯 伸枝

10月24日から11月13日まで、病院1階のアトリウムにて「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展を開催します。「遺伝性乳がん卵巣がん」(HBOC)の当事者の想いや悩み、家族への愛などがつづられた手紙をパネルに収めたもので、当院では4回目の開催です。この展示に関連して10月19日には、遺伝性腫瘍やHBOCへの理解を深める機会として公開講座を開催(WEB)する予定です。



昨年の写真パネル展の様子

バンコク医療関係者視察団が訪問

総務グループ 課長補佐
杉山 理津子

2024年5月17日、バンコク都医療サービス課が開催する海外研修の一環として、バンコク都内在職の医療関係者が愛知県がんセンターを訪問しました。当日は医師、看護師等36名が手術支援ロボット「ダヴィンチ」や外来化学療法センター、バイオバンクを視察しました。また、意見交換会では活発な質疑応答が繰り広げられました。



バンコク医療関係者視察団

がん看護外来をご利用 ください

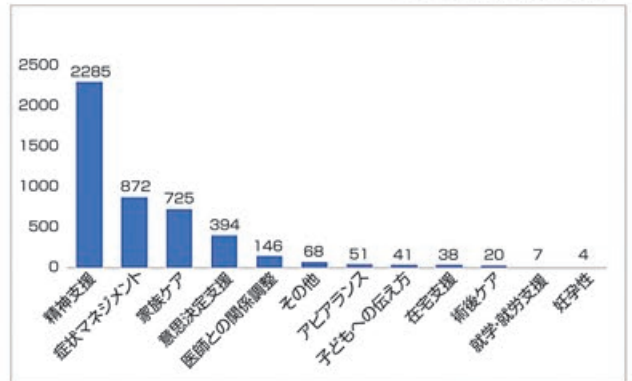
看護部 がん看護専門看護師 吉川 恵



がん看護外来は、がんの病状や治療における苦痛や悩みなどについて、通院治療を行う患者さんやご家族の相談に対応しています。外来で治療を行う場合、治療の選択や、治療による副作用など、患者さんは日常生活の中で対応していくことになります。当院には40名ほどの認定、専門看護師が在籍しており、これらの看護師らが、患者さんのおからだや気持ちのつらさ、悩みなどを詳しくお聴きして、がんになっても自分らしく過ごせる方法を一緒に考えています。つらい症状や日常生活への影響、治療や療養についての悩みや不安、ご家族やこどもさんへの病気の伝え方、外見のケアなど様々な悩みについて、必要時は医師や薬剤師と連携を取りながら対応しています。

がん看護外来の実績

2023年度(延2789件)



※対応内容は一患者に重複有り

ご利用される際は、主治医や外来看護師、または相談支援センターや緩和ケアセンター受付にお伝えください。平日9時～16時の予約制ですが、予約がない場合でも対応しております。また、当院を初めて受診される方には、がん看護外来の担当看護師から声をかけさせていただきます。不安やお悩みに対応させていただく場合もあります。



地域医療者の方々からも、がん看護外来の利用を勧めさせていただき、地域へ戻る際には情報共有するなどの連携が行えると幸いです。ぜひお気軽にご利用ください。

地域医療者の方々からも、がん看護外来の利用を勧めさせていただき、地域へ戻る際には情報共有するなどの連携が行えると幸いです。ぜひお気軽にご利用ください。

栄養管理部おすすめメニュー

調理師：滝澤 幸二 管理栄養士：嘉津山 瑞恵

「トマトジュースのガスパチョ」

材料(2~3人前)	
★トマトジュース	300ml
★赤パプリカ	1/4個
★玉ねぎ	1/4個
★きゅうり	1/2本
★食パン	1/2枚
(にんにく)	小さじ1/2
★塩	小さじ1/4杯
★胡椒	少々
★酢	小さじ1
★オリーブオイル	大さじ1/2
(飾り用)レモン	
(飾り用)パセリ	

- 作り方
- ①ざく切りにした赤パプリカと玉ねぎ、トマトジュースと調味料を鍋に入れて火にかける。
 - ②煮立ってきたら弱火にして10分煮込み、冷ます。
 - ③②と食パン、きゅうりをミキサーにかける。
 - ④③を器に盛り、よく冷やす。レモン、パセリを飾って、出来上がり。



ガスパチョは、スペインやポルトガルで親しまれているトマトベースの冷製スープです。生の野菜をそのままミキサーにかけてもよいですが、玉ねぎの辛みが強く出ますので、火にかけて野菜の甘みを引き出し、マイルド仕立てにしました。食欲のない暑い日にもおすすめです。





抗原特異的免疫療法の開発

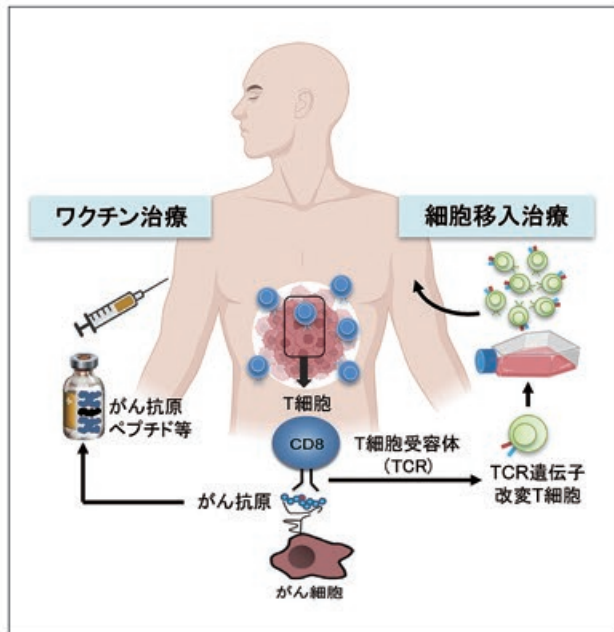
腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野長 松下 博和



がん治療の中で、免疫チェックポイント阻害剤が標準治療としての地位を確立していますが、治療効果を認める患者さんはまだ僅かです。治療効果を更に高めるためには、新しい免疫療法の開発が必要です。私たちは、患者さんの腫瘍に浸潤している免疫細胞(T細胞)の中から、腫瘍を攻撃するT細胞集団を明らかにし、そのT細胞が認識するがんの目印(がん抗原)

を同定するシステムを企業と共同で構築してきました。

このシステムを活用し、一人一人の患者さんで鍵となるがん抗原及びそれを認識するT細胞が同定できれば、抗原に対する免疫応答を増強する有効ながん免疫療法の開発が可能になります。すなわち、がんワクチン治療とT細胞移入治療に応用可能になります。また、T細胞のがん細胞に対する反応性を高めるために、がん抗原を認識するT細胞の受容体を、人工知能(AI)を活用して改変することを試んでいます。これらの抗原特異的免疫療法は、免疫チェックポイント阻害剤との併用でより強い効果が期待できると考えています。



愛知県がんセンターへの寄附金についてのお知らせ

愛知県がんセンターでは、医療体制の充実や研究促進のため、寄附金の受け入れをしております。

いただきました寄附金につきましては、がんセンターの医療・研究機器や設備の充実、がん克服に向けた研究推進などに使用いたします。

皆さまのご理解、ご厚志をお寄せいただきますようお願いいたします。

※2024年2月より、クレジットカードによりご寄附いただくことも可能になりました。

寄附・アンケートについてのお問い合わせ先

愛知県がんセンター運用部経営戦略課
企画・経営グループ

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
電話 052-762-6111 (代)
FAX 052-764-2963
メール kihukin@aichi-cc.jp

スマートフォンの方は
▼こちらから▼



アンケートのお願い

がんセンターNEWSの誌面を魅力的なものにするにあたり、皆様の貴重なご意見を参考にしたいという考えから、読者アンケートを実施することになりました。

たいへんお忙しいところ誠に恐縮ではございますが、皆様からのご回答を、心よりお待ちしております。

アンケートの回答はこちらから

- ※ アンケートは5分程度でお答えいただけます。
- ※ アンケートの締め切りは、8月31日です。



PCの方は
こちらから

<https://cancer-c.pref.aichi.jp/ques/questionnaire.php?openid=38>



スマートフォンの
方はこちらから



循環器内科と心臓リハビリの高針クリニック 院長:竹中 真規 先生



「循環器内科と心臓リハビリの高針クリニック」は名東区高針で循環器専門クリニックとして心臓と血管を中心に息切れ、動悸、胸の痛み、足の冷たさの治療から、高血圧、糖尿病やコレステロールなどの心臓の病気の原因治療まで専門的に行っております。もう1つの特徴としましてはクリニックでは珍しい「心臓リハビリ」を行っております。「心臓リハビリ」とは、お薬だけには頼らない治療のことで、食事や運動療法を医師、看護師、理学療法士、管理栄養士のチームのもと皆様それぞれの状態にあったオーダーメイドの治療を考え実践していくものです。実は、「心臓リハビリ」はがん治療されておられる心臓の悪い方にも重要なのです。なぜならがん治療を順調に進めていくには心臓の元気さは大切だからです。もしご心配な方がおられましたらいつでもご相談ください。

がんセンターは中部地方におけるがん治療の中心的施設で正確で高度、そして丁寧な医療を提供されておられ本院からもたくさんの患者さんがお世話になっております。



近年、がんと心臓の両方をマネジメントしていく腫瘍循環器学というものが注目され、循環器専門医が治療のサポートをさせて頂くようになってきております。地域連携も大切にさせていただいており、当院はこれからも心臓の分野において積極的に担当させて頂く事で皆様が安心してがん治療に向かって頂ける様に邁進して参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

医療機関情報



循環器内科と心臓リハビリの高針クリニック

診療科目 内科・循環器内科・心臓リハビリ

電話 052-703-7070

所在地 〒465-0061
名古屋市名東区高針一丁目1525番地

ホームページ <https://takabari-clinic.com/>

【診療】

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	/
15:30~19:00	●	●	●	●	●	/	/

【心臓リハビリテーション】

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	/	●	/	/
13:30~16:30	●	●	●	/	●	/	/

●診療日 / 休診日



バス停「高針」徒歩2分

編集後記

第32回は名東区、循環器内科と心臓リハビリの高針クリニック、竹中真規先生です。ギャラリーを思わせる外観と広い駐車場が目印です。HEART to HEARTという理念が、文字通り「心臓からの血液が全身をめぐり心臓に戻ってくる」意味と「心と心を通わせる医療」を示していると知った時、シンボルであるグラフィカルなハート(心臓)が、温かみのある生き生きとしたものにみえてきました。先代から引き継がれた、かかりつけ医としての機能と専門性の高い循環器診療、そして心臓リハビリを通じ、地域の方々と向き合っていきたい思いを強く感じました。これからもよろしくお願いいたします。 y.sano



令和6年度 愛知県がんセンター公開講座(オンデマンド配信)

回	配信・申込期間	テーマ	講演者
2	R6.7.19(金)正午～ R6.8.5(月)正午まで	第2回「女性に多いがんの最新治療」 1.乳がん薬物療法のトレンド 2.乳がん局所療法のトレンド 3.遺伝性乳がん治療のトレンド 4.婦人科がん治療Up-to-Date	司会 乳腺科部長 原文 堅 1.乳腺科部 原文 堅部長 2.乳腺科部 小谷 はるる 医長 3.乳腺科部 吉村 章代 医長 4.婦人科部 北見 和久 医長
3	R6.9.13(金)正午～ R6.9.30(月)正午まで (R6.9.8オンサイト開催したものを配信)	第3回「若き未来の医学研究者たちへ:未来の医学に挑むがん研究者からのメッセージ」 第1部 1.がんの予防法のエビデンスはどうやって作られているのか 2.がんの診断法のエビデンスはどうやって作られているのか 3.がんの治療法のエビデンスはどうやって作られているのか 第2部 医学研究者への様々なキャリアパス 開催日時:R6.9.8(日)14:00～16:30 開催場所:愛知県がんセンター 対象者:医学研究者や医師をめざす中・高生(ご両親などご家族での参加も可) ※事前申込制先着150名	司会 研究所長 井本 逸勢 第1部 1.がん予防研究分野 松尾 恵太郎 分野長 2.分子診断TR分野 田口 歩 分野長 3.がん標的治療TR分野 衣斐 寛倫 分野長 第2部 研究所若手研究者
4	R6.11.8(金)正午～ R6.11.25(月)正午まで	第4回「膵がんの最新治療」 1.膵がん総論 2.膵がんの診断法 3.膵がんの外科治療 4.膵がんの内科治療について	司会 副院長兼消化器外科部長 清水 泰博 1.消化器内科部 原 和生 部長 2.消化器内科部 羽場 真 医長 3.消化器外科部 浅野 智成 医長 4.消化器内科部 桑原 崇通 医長
5	R7.2.7(金)正午～ R7.2.25(火)正午まで	第5回「がん臨床試験について学ぼう」 1.希少がんについて 2.がんの臨床試験について 3.臨床試験の新しい形について(リモート治験、プラグマティック試験)	司会 臨床試験部長 安藤 正志 1.薬物療法部 本多 和典 医長 2.臨床試験部 安藤 正志 部長 3.薬物療法部 谷口 浩也 医長

◇視聴料:無料(ただし、通信料は自己負担願います。) ◇視聴方法:事前申込が必要
※事前に愛知県がんセンターweb公開講座ページにある事前申し込みフォームよりお申し込みください。YouTubeによるオンデマンド配信です。
事前申し込みの方には、視聴するためのURLをメールにてお送りします。都合により予告なく中止、公演内容等の変更をすることがあります。
◇視聴対象者:どなたでも事前申し込みのうえ、視聴できます。なお、視聴するためのインターネット環境が必要です。

中部地区がん医療連携学術講演会のお知らせ

医事グループ 課長補佐 天野 拓哉

近隣の医師会、歯科医師会、薬剤師会のご協力のもと、医療従事者を対象に「第21回中部地区がん医療連携学術講演会」を開催します。講演会では、最新のがん医療を紹介いたします。

日時 令和6年7月27日(土)16時～

会場 ホテルメルパルク名古屋

※研究所がん情報・対策研究分野 伊藤 秀美 分野長による特別講演を行います。



前回(第20回:R6.3.2開催)の様子

公開講座の問い合わせ先

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
愛知県がんセンター運用部経営戦略課 公開講座係
TEL:052-762-6111(内線2511・2521)
FAX:052-764-2963
愛知県がんセンターwebページ(公開講座)
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/site/folder6/3975.html>



医療連携のご案内		寄附のお願い
対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く)	詳細はホームページの「寄附のお願い」をご覧ください スマートフォンの方はこちらから
電話	052-764-9892 (直通)	PCの方はこちらから https://cancer-c.pref.aichi.jp/site/folder17/
FAX	052-764-9897 (24時間稼働しております。)	
ホームページ	https://cancer-c.pref.aichi.jp 「医療関係者の方へ」-「医療連携」をクリックしてください。	

外来診療担当表

受付時間	午前8時30分から午前11時30分 (都合により診察医の変更あるいは休診の場合があります)
休診日	土、日、祝日、年末年始

※(SO)はセカンドオピニオン診療だけの場合に表します。 ※(初)-(初診)・(再)-(再診)・(非)-(非常勤) 2024年7月1日

診療科目	月	火	水	木	金
総合初診	稲葉	原	室	堀尾	田近
消化器内科	原(初) 田中(初) 奥野 田近(SO)	原 田近 山田(初) 桑原	原 羽場 田近(SO) 孝田 伊藤	丹羽(初)<午後> 水野 奥野 田中(初)<午前> 伊藤(初)<午前> 孝田	田近(初) 水野 山田(初) 桑原 羽場 田中/山田(SO)<午後>
呼吸器内科	渡辺(初) 山口(再) 堀尾(再) 清水(淳)(再)	藤原(初) 渡辺(再) 松澤(初)	清水(淳)(初) 藤原(初) 松澤(再) 山口(初)	山口(初) 堀尾(再) 清水(淳)(再) 渡辺(再)	堀尾(初) 山口(再) 藤原(初) 松澤(再)
循環器科	木村			木村	
血液・細胞療法	川口(初・再) 萩原(再)	鏡味(初・再)<隔週は午後のみ> 山本(一)(初・再) 楠本(初・再) 森島(SO)(非) 大野(SO)(非)	川口(再) 齋藤(初・再) 森島(SO)(非) 大野(SO)(非)	楠本(初・再) 齋藤(再) 大野(SO)(非)	楠本(再) 萩原(初)(再)
薬物療法	安藤(初) 室(初)<午後> 舩石(初)	門脇(初) 谷口(初) 本多(初)<午後>	室(初) 本多 成田(初)	谷口(初) 門脇<午後> 舩石(初)	安藤(初) 門脇(初) 谷口(初)<午後> 成田(初)
頭頸部外科	花井(再) 寺田(第1・3・5週)(再) 別府(初・SO)<午前>	鈴木(再) 西川(再)(第1・3・5週) <午前> 別府(再)<午前>(第2・4週) 寺田(初・SO)<午前>	花井(初・SO)<午前> 小林(再)	花井(再)(第2・4週)<午前> 寺田(再)(第2・4週)<午後> 寺田(再)(第1・3・5週) 西川(再) 鈴木(初・SO)<午前>	別府(再) 小林(再)(第1・3・5週) <午前> 鈴木(再)(第2・4週)<午前> 西川(初・SO)<午後>
形成外科	高成/鍋谷 奥村	高成 奥村 大島	高成(第1・2・3・5週) 大島 鍋谷	高成 奥村 大島	
呼吸器外科	則竹(初・再)	松井(初・再)	坂倉(初・再)	岩清水・坂倉(初・再)<午前>	瀬戸(初・再)
乳腺科	片岡(再) 小谷(初) 澤木(再) 原(SO)<午後>	吉村(初) 服部(再) 原(再)	小谷(再) 服部(初) 吉村(再) 原(SO)<午後>	小谷(再) 能澤(再) 安藤(再) 澤木(再) 原(初・再)	服部(再) 澤木(初) 吉村(再) 片岡(再)
消化器外科	榎垣<午前> 安部 伊藤(誠)(第1・3・5週) 三澤(第2・4週) 木下(敬)(第1・3・5週)	三澤 木下(敬) 奥野(正)	小森(康司) 伊藤(友) 清水(泰)	夏目 伊藤(誠) 大内 安部	佐藤 安部(SO)<午後> 浅野<午前> 藤枝
整形外科・サルコマセンター外来	濱田(初) 筑紫(初) 吉田(雅)(初)	筑紫(初)	吉田(雅)(初)		濱田(初)
脳神経外科	灰本<午後>		大野	灰本	大野
泌尿器科	小島(初) 加藤 茂井		小島 加藤(初) 北野	担当医(初)	北野(初) 加藤 茂井(初)
婦人科	篠田(初)	鈴木(初) 渡邊 北見(初)	安井(初) 北見(初)	鈴木(第1・3・5週)(初) 篠田(第2・4週)(初) 篠田(第1・3・5週) 安井(第2・4週)(初)	渡邊(初)
放射線診断科	稲葉(初) 村田		稲葉(初) 山浦	佐藤(初)	稲葉 加藤(弥)
放射線治療科	古平(初) 立花(再) 小出(再)	古平(再) 立花(初) 小出(再) 橋本(再)	古平(再) 立花(再) 橋本(初) 小出(再)	古平(再) 小出(初) 橋本(再)	立花(初) 小出(初) 橋本(初)
精神腫瘍科	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)
緩和ケア科	下山	下山	下山	下山	下山
ペインクリニック			木村<午後>(非)		
遺伝カウンセリング	井本	井本	井本	井本	井本
がんゲノム外来	衣斐		衣斐		

※現在は、当院受診中の患者さんのみ受け付けております。

糖尿病外来	細川<午後>		細川<午後>	
腎臓内科			担当医<午後>	
皮膚科		松井(非)	酒井(非)	森
眼科		立川<午前>(非)		立川<午後>(非)
リンパ浮腫		鍋谷<午前>		藤岡<午前>

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時 (土・日・祝・年末年始を除く)
※セカンドオピニオン外来は、全科に対応しています。(完全予約制・自由診療)

★公共交通機関のご案内

- 地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
- 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でアクセスのご案内

- 一般道路 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- 高速道路 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分

愛知県がんセンター 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号 TEL052-762-6111(代)
 第89号 2024年7月発行 ホームページ: <https://cancer-c.pref.aichi.jp>
 編集: 運用部 経営戦略課 企画・経営グループ

「がんセンターNEWS」に関するご意見・ご感想はmail:kohonews@aichi-cc.jpまたはfax: 052-764-2963にてお寄せください。
 なお、個別の返答は致しかねますので予めご了承ください。